

平成30年9月22日 発売予定
「フェリス生が考えた横浜和菓子」

はまこひたび

浜恋路

—読み札—
—取り札—

〈読み取ろう。逢いたい想い〉

「百人一首を現代に蘇らせたい」
そんな学生の熱い思いが、ついに商品化。
フェリス女学院は二〇二〇年に創立一五〇周年を
迎えます。
その記念すべきプロジェクト第一弾。
和菓子と百人一首。フェリスと横浜。
「和」のコラボレーションに
「洋」のイメージを合わせたお菓子になりました。



左： 取り札 珈琲味
450円（税別）
右： 読み札 金柑味
450円（税別）



フェリス女学院大学



横浜 元町

香炉庵

平成30年9月22日 発売予定

「フェリス生が考えた横浜和菓子」

はまこひたび

浜恋路

—読み札—
—取り札—

あなたに逢いたい人はいますか？

百人一首は、百人の歌人の和歌が集められたアンソロジーです。鎌倉時代初期に藤原定家が撰んだとされていますが、百の和歌には今と変わらない人間の営みや喜び、悲しみが込められています。横浜元町・香炉庵「浜恋路(はまこひたび)」のモチーフとなった和歌は、百人一首「瀬をはやみ岩にせかる滝川のわれても末に逢はむとぞ思ふ」(77番・崇徳院)と「あらざらむこの世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」(56番・和泉式部)の二首です。どちらも「逢いたい」という想いを和歌に託した恋歌です。人は人との縁なくして生きていくことはできません。古人は、自分の想いを三十一文字の和歌に託して、愛する人に伝えていたのです。

鎌倉時代に京都で生まれた百人一首が、このたび横浜元町・香炉庵「浜恋路(はまこひたび)」を通じて、現代の横浜の地に生まれ変わりました。百人一首は、かるたとしても幅広い世代から愛され続けています。「浜恋路(はまこひたび)」では、珈琲味(崇徳院)をかるたの取り札に、金柑味(和泉式部)を読み札に見立てました。「横浜」「恋」「路(たび)」の織りなす百人一首の和菓子、どうぞお楽しみください。

(フェリス女学院大学文学部日本語日本文学科教授 谷知子)



フェリス女学院大学

企画・広報課：横浜市泉区緑園4-5-3
電話 045-812-9624
<http://www.ferris.ac.jp/>



横浜 元町

香炉庵

元町本店：横浜市中区元町1-40
電話/FAX 045-663-8866
<http://kouro-an.jp/>

[販売店舗]
元町本店
そごう横浜店
新横浜店